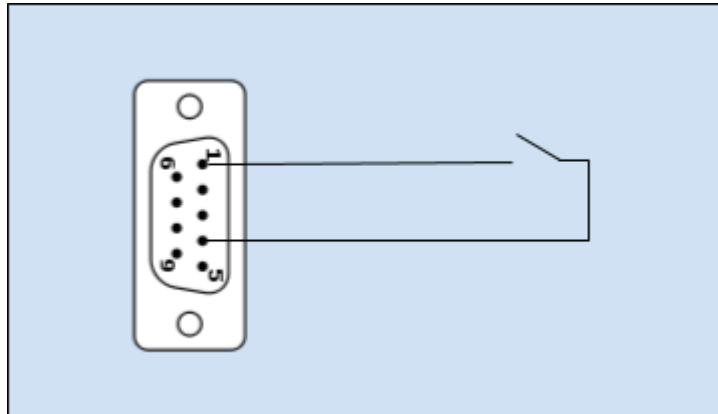


GPI 機器の接続

GPI を動作させるには、RS232C ポートを使用します。

配線について

- リレー接点で 1 番ピン(DCD)と 4 番ピン(DTR)をショートします。



ケーブル長について

- ケーブル長は 7m 未満で接続してください。
- ケーブル長が長い場合正常に動作しない場合があります。
- RS232C は、規格上、通信可能ケーブル長が約 15m となりますが、このケーブル長は PC-PC または PC-電源を有する機器との通信する場合ですので、本 GPI 動作の場合、一旦出力した 4 番ピン (DTR)の-12V が信号の変化を検出する 1 番ピン(DCD)に 戻りますので有効ケーブル長は半分の約 7.5m となります。実運用 (使用ケーブルのスペックや拾うノイズ等) を考慮するとそれ以下での使用が望ましいといえます。
- ケーブル長を 7m より延ばす場合、外部制御機器からの GPI 信号を一旦、リレーBOX 等で受けて本 GPI に使用する RS-232C ポートに接続してください。